

KOREYOSHI KURAHARA'S
ANTARCTICA

人間と犬たちが
神々の領域に踏み込んだ日から
この壮大なドラマが始まった



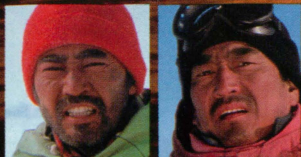
高倉 健
渡瀬 恒彦
岡田 英次
夏目 雅子
日下 武史
荻野 慶子
佐藤 浩市
江藤 潤
山村 聡

製作・監修 堀内春雄 監修補
企画・演出 廣瀬雅之
製作総指揮 日枝 正
チーフプロデューサー 真山知弘 田中義一
プロデューサー 森島恒行 廣瀬雅之
製作コーディネーター 村上七郎
脚本 野上龍雄 佐伯 聡 石室淑朗 廣瀬雅之
撮影 増本 彰 田中正博

監督 廣瀬雅之
製作・編集・字幕 廣瀬プロ
配給 日本ヘラルド映画 東宝

8mm Real
DOLBY STEREO <カラー作品>

南極物語





〈カラー作品〉
ANTARCTICA

南極物語

◆極寒の南極に生きた
奇跡の犬タロとジロ、
その空白の一年とは？

「タロとジロ」を知っていますか？
世界を驚きと感動でつつんだ2匹
の「犬」の名前です。
それは、昭和34年1月、南極から
打電された一行のニュースにはじま
った。タロとジロは生きていた。
昭和33年1月、第2次南極観測に
むかった越冬隊員は、その行く手を
悪天候にはまれ急拠帰国を余儀な
くされた。その折、心ならずも15匹
のカラフト犬を昭和基地に置き去り
にした。

そして一年後、隊員が再び基地を
訪れた時、真っ白な氷原のなかに、
まさかと思った動く黒い点が2つ、
それがタロとジロだった。

ブリザードが吹き荒れる極寒の南
極で、2匹の犬は、いかにして生き
のびたのか？ その強じんな生命力
と、驚くべきサバイバル精神に、世
界の人々は惜しみない拍手を送る
と共に、多大な想像力をかきたてられ
たのである。

この「南極物語」は、史実や科学
的データをベースに人間には知るこ
とのできない犬たちの空白の一年を
追いつつ、よりよきパートナーだっ
た犬たちを残さざるを得なかった2
人の越冬隊大係の心の葛藤と苦悩を
描く一大ロマン巨編です。

監督は「キタキツネ物語」の蔵原
惟縊。「生存の原点を壮大なイメージ
でとらえて、ロマンの世界に解放し
てゆく」と意欲に燃えて、世界初と
いう南極ロケに2度も挑戦。未知の
大陸、南極を見事フィルムに収めて
いる。

越冬隊大係には、日本映画界のビ
ッグスター高倉健と、演技派として
円熟期をむかえている渡瀬恒彦。犬
に思いをよせる熱い男の競演ぶりも
話題である。

◆足かけ3年、極点か
ら極点へ地球3周12万
キロの世界最長撮影行

この映画の企画がスタートしたの
が昭和55年12月。調査、シナリオ執
筆、ニュージランド南極局との打
合せ等々、諸準備を終えて、第一次
南極ロケ（実景撮影）が行なわれたの
が昭和56年12月から57年2月。3月
には北極のリゾリユット（カナダ）で
ドラマ部分の撮影を行ない7月に帰
国。京都で祇園祭を背景に渡瀬と恋
人役の夏目雅子と撮り、8月には北
海道稚内ロケ。そして10月には再び
南極へ。足かけ3年にわたり、東京
↓南極、東京↓北極、東京↓京都、
東京↓稚内、東京↓南極とカメラか
ついで撮影行脚は、あわせて12万
キロメートル。実に地球を3週りし
たことになる。これは劇場版では世
界最長。58年2月3日には第2次
海道ロケが敢行されることになって
おり、この記録はさらにのびされる
ことだろう。

◆風速60mのブリザード襲来、南極に「地獄」
を見た監督、健さん

北極、南極といった極地での撮影
には危険がつきもの。「生」と「死」
が常に同居している。ことに、第二
次南極ロケでは、撮影隊はブリザ
ードに襲われ、九死に一生を得て帰国。
南極ロケに参加したのは、蔵原監督、
高倉健、椎塚田中両カメラマンの4
人。ニュージランド・スコット基
地の協力を得て、ペンギンの群が
ケープクロージアへとむかった。途
中、2組にわかれてテントをはり寝
りにつこうと準備しているとところへ
ブリザードが襲ってきた。瞬間風速
60メートル、体を棒でぶんなぐられ
たようなショックだった」と恐怖顔
の蔵原監督。

強風にテントは吹きちぎられ、氷
点下30度の中で四人は寝袋にしがみ
ついて嵐が去るのをまつた。その間
4時間、近くには大きなクレバスが
ある。寝袋ごと吹き飛ばされたら終
りである。「地獄を見た。というより
体験した」と語る健さんは、右耳が凍
傷になり皮がペロリとむけたという。



◆音楽監督に「炎
のランナー」でアカ
デミー賞受賞の
ヴァンゲリス

7月23日 夏休み公開

●東京・日比谷映画／新宿文化シネ
マ／新宿アカデミー／渋谷スカラ
座／池袋スカラ座／上野宝塚／江東
キングキ●横浜・横浜相鉄国際／横
浜スカラ座●川崎・川崎スカラ座
●大阪・OS劇場／三番街シネマ
●東宝数島●京都・東宝公衆●神戸・
新聞会館大劇場●名古屋・毎日ホー
ル大劇場／中日シネマ地下●福岡・
シネマ・札幌・帝国座／ニッポ劇場

ヘキャストン 高倉健 渡瀬恒彦 岡田英次 夏目雅子 日下武史 神田繁史 岸田史 大野史 荻野史 金井新二 中丸正将 佐藤文郎 坂田祥一 志賀圭二 内山和彦 市丸代 市丸代 スーザン・ネピア 濱森辰雄 大谷良行 前島良行 大江徹 長谷川初範 佐藤浩市 江藤潤 山村聡

ヘスタッフ 製作 古岡 潤 企画 角谷 優 蔵原惟縊 製作指揮 日枝 久 チーフプロデューサー 貝山知弘 田中壽一 プロデューサー 森島恒行 蔵原惟二 製作コーディネーター 村上七郎 脚本 野上龍雄 佐治 乾 石堂淑朗 撮影 蔵原惟縊 監督 蔵原惟縊 製作 フジテレビ 学 研 蔵原プロ 配給 東宝 東宝

3号

1983年1月15日発行
発行所「南極物語」製作委員会

オの通信